

洋

三年

画数 9
筆順

一 二 三 四 五 六 七 八 九
ヨウ

成り立ち



羊 (年 43) は、はらわたがとても長いので、長いもの
のたとえに「羊腸」ということばがあるほどです。その
「羊」と、川のいみをあらわした「シ」とを組み合わせて
作った字で、「川のとても長いこと」をあらわした字です。
「川が長くて広々としているようす」をあらわすのにつか
われましたが、のちに「海の広々としているようす」の
いみにつかわれ、また、「海」のいみにもつかわれるよう
になりました。〔例〕海洋、遠洋、太平洋。

また、西洋 (西の海ということばですが「西の海にう
かぶ国ぐに」といういみでヨーロッパやアメリカの国ぐ
にのこと) といういみにもつかわれます。〔例〕洋式、洋風、
洋服。

葉

三年

画数 12
筆順

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
エフ

成り立ち



十 (年 36) を三つかさねて「数が多いこと」をあらわ
した「世 (年 34)」と、木とを組み合わせて、「木の中で
数の多くあるもの」「はっぱ」をあらわした「葉」に、草
の形をあらわした「艹」をくわえて作ったものです。「草
や木の「は」といういみの字です。

「葉のようにうすくてひらたいもの」のいみや、そう
いうものを数えるのにつかわれることもあります。

「葉は「木の葉」であり、葉は「草の葉」であり、葉
は、「草や木の葉」であると考えられる。その考えて、わ
が国で作られたのが「笹」という字である。「ささぎ」をあ
らわした字であるが、「竹の葉」といういみで作られたも
のである。」

使い方

▽子どもには、洋々たる未来がひらけています。「少年よ
大志をいだけ」という有名なことばがありますが、子
どもたちには、ぜひ、大きな志をいだいてほしいもの
です。

▽日本は、太平洋という大きな海と、日本海という、ひ
かくてきせまい海にはさまれて、アジア大りの東の
はしによこたわっています。

熟語例

▽海洋 (大きな海。「海洋性気候」といえば、海にかこま
れた土地の、あたたかく、しめった気候のこと。)

▽遠洋 (りくから遠いところの海。「遠洋漁業」といえ
ば、りく地から遠い海でする魚取りのことです。)

▽洋式 (西洋式、といういみです。西洋ふう、西洋のや
り方、ということばです。洋式トイレといえば、こしか
けてするおべんじよのことです。①「和式」)

▽洋風 (西洋風、といういみです。「洋式」と同じいみで
す。「洋風のへや」などというふうに、つかいます。②
「和風」)

使い方

▽秋になると、木の葉は赤や黄色に色づきます。秋のも
みじは本当にきれいです。冬になると、落葉樹の葉は、
すっかりおちてしまいます。でも、やがて、かわいら
しいみどり色の若葉が芽生えて来て、春のおとずれを
つげるのです。

▽ぼくは、いもうとに笹の葉で、木の葉舟を作ってやり
ました。いもうとは、小川に舟をうかべて、そつとふ
きました。すると、小さな木の葉舟は、水のながれに
したがって、川を下って行きました。

熟語例

▽落葉樹 (冬になると葉をおとす木。秋になっても葉の
色がかわらず、冬も葉をつけたままである木を「常緑
樹」といいます。)

▽紅葉 (もみじのこと。「紅葉」とも書きます。赤い葉は
紅葉ですし、黄色い葉なら黄葉です。)

▽葉脈 (木の葉の表面にあるすじ。水分やえいようがこ
こを通ってはこばれます。)

▽薄葉 (「薄様」とも書きます。薄くすいた紙の名前で
す。むかしは、これに、和歌などを書いたものでした。)